



特集

都城市立美術館特別展
都城島津伝承館特別展

自画像 キャンバスの中の画家たち
島津義弘と都城



今月の内容



オーストラリアでの貴重な経験を報告

8月1日から7日にかけて実施した、中学生海外派遣研修の帰国報告会を8月22日、中央公民館で行いました。中学生20人が、オーストラリア・クイーンズランド州でホームステイし、現地の中等学校で授業を受けたり、視察したりすることで、国際性豊かな人材を育成する本研修。参加した生徒らは自信に満ちた表情で、研修の感想を英語で発表しました。池田市長は「今回の経験を生かして、夢に向かって努力し、未来を切り開いてほしい」と激励しました。



エネルギーの大切さを学ぶ

今年度から3年間かけて、市内小・中学校41校の屋根などを太陽光発電業者へ貸し出す事業の開始に合わせ8月29日、明道小学校で、現地説明会と環境エネルギーに関する出前授業が行われました。同校体育館の屋根に太陽光パネル約300㎡を設置。防災コンセントも設置され、災害時には非常用電源として活用されます。出前授業を受けた同校の4年生らは、教室のベランダで小型の太陽光パネルを空に向かってかざしながら、発電の仕組みを学んでいました。

02 まちの話題

市立美術館特別展

04

特集

自画像 キャンパスの中の画家たち
都城島津伝承館特別展
島津義弘と都城

06 第14回ふれあいアンケート結果

10 都城デジタル化推進宣言

11 都城 Grow with Google

12 住み慣れた地域で自分らしく暮らすための介護保険サービス

14 人の風景

16 沖水地区公民館・地区市民センターが完成！

17 子どもらの頼れる先輩「ジュニア・リーダー」

18 INFORMATION (市からのお知らせ)

22 都城市環境まつり

23 がん検診を受けよう！／今月のお便り

24 みやこんじょ盛り上げ隊！／プレゼント

25 国際交流員のひとりごと／美術館情報／学校へ行こう！

26 図書館だより／歴史探訪／伝承館だより

27 NPO通信／安全・安心情報／番組紹介／現住人口／編集後記

28 自治公民館に加入しましょう！

※今月の「楽うまレシピ」は、休載します

取材で出会った笑顔



萩原もなさん(上長飯小6年・写真左から)、山下亜樹さん(同3年)、山下晴太郎さん(同1年)が、文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦全国大会で6位に入賞し8月22日、岩崎副市長に活躍を報告しました。

今月の表紙

石山地区に伝わる伝統の相撲行事

高城町石山に伝わる石山花相撲が8月25日、観音池公園で開催されました。今年7歳を迎える男児の健やかな成長と、五穀豊穰を祈るために開催する石山花相撲。「ヨイヤーサー」と、元気な声で土俵入りした豆力士らに、会場からは温かい声援が送られていました。





キャッシュレス決済で インバウンド対策強化

ニッポンプラットフォーム
NIPPON Platform(株)と本市が8月22日、事業連携協定を締結しました。市内の観光施設にキャッシュレス決済の可能な端末を導入し、インバウンド対策強化を図る本協定。池田市長は「海外から多くの旅行者に本市へ足を運んでもらうため、この機会を生かしたい」と期待を込めていました。



地域の環境美化に 爽やかな汗流す

いきいき大淀川クリーン大作戦が8月18日、神柱公園広場とその周辺の年見川流域で行われました。「小さな親切」運動都城支部が毎年実施する本取り組みに、市内の企業や高校・大学生、地域住民ら約900人が参加。草刈りやごみ拾いをしながら、爽やかな汗を流していました。



都城のまちなかに ブラジルの風が吹く

フェスタドブラジル
「Festa do Brasil 都城」が9月7日、Mallmall 市内まちなか広場で開催されました。パーカッション演奏家谷口潤実さんの「サンバで都城を盛り上げたい」との思いから初開催。県内外からの来場者約5,000人は、サンバのステージやパレードなどに、ブラジルの風を感じていました。



健康と長寿を にこやかに祝う

老人の日・老人週間に先立ち、市内最高齢者と今年度100歳を迎える人に敬意を表し、健康と幸せを祈念する高齢者世帯訪問を9月5日、市内各地で行いました。池田市長は、市内最高齢で108歳の光神ナルさんと妹の今村レイさん(99歳)に花束などを贈呈し、2人の長寿を祝いました。



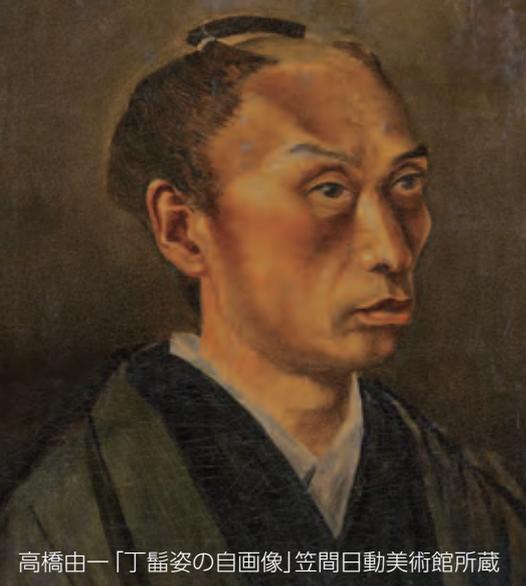
地域と学校が連携。 心を込めた雑巾作り

「ぞうきんを作ろうプロジェクト」が9月10日、五十市中学校で開催されました。地域のつながりの強化を図ろうと、地域住民と同校生徒が連携した本取り組み。生徒らは縫い方の手ほどきを受けながら、熱心に作成していました。完成した雑巾は、地区内の高齢者施設などに寄贈されます。

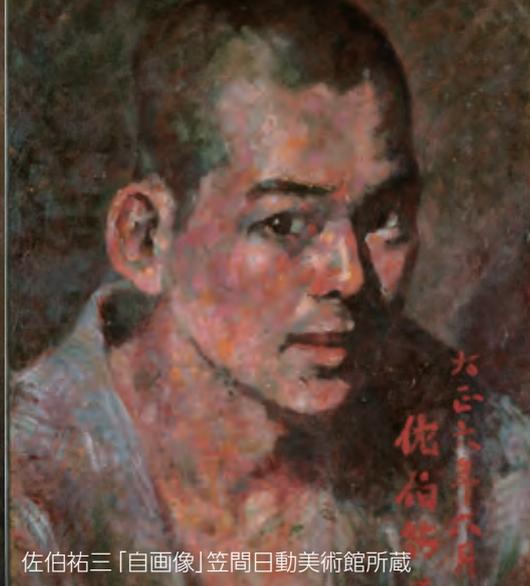


「生きる」を支える ゲートキーパーを養成

自殺予防週間に合わせて、ゲートキーパー養成講座を9月10日、市役所で開催しました。悩んでいる人に気づき、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ見守るゲートキーパー。本講座では14人が修了書を手にし、身近な家族や友人など、悩みを抱えている人たちを支えます。



高橋由一「丁髷姿の自画像」笠間日動美術館所蔵



佐伯祐三「自画像」笠間日動美術館所蔵



武者小路実篤「自画像」笠間日動美術館所蔵

都城市立美術館特別展

自画像

キャンバスの中の画家たち

画家が自身を描いた「自画像」は、描く人と描かれる人が同一なことから、絵画の中でも特殊なものと位置付けられています。今回の特別展では、笠間日動美術館のコレクションを中心に、120人の自画像を一挙展示。キャンバスの中で悠久の時を過ごす画家らが語りかけるものを、ぜひ、体感してみませんか。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

見どころ

多くの画家が、人体表現の研究や自己探求の一環として一度は手掛ける題材である「自画像」。その表現手法は多様性に富んでいます。髪の毛など細かな部分まで自分の姿を写し取った写実的なものから、画家の内面がうかがえる抽象的なものまであり、画家が自己と真剣に向き合った結果が表れています。

【主な展示作家】

武者小路実篤、藤田嗣治、草間彌生、鴨居玲、渡辺武夫、梅原龍三郎、ピカソ、シャガールなど

特別展概要

●会期

10月19日(土)～12月1日(日)

※月曜日は休館(月曜日が祝日のと



萬鉄五郎「自画像」笠間日動美術館所蔵

きはその翌日

●観覧料

一般800円(6000円)

高校・大学生600円(4000円)

中学生以下無料

※(一)は20人以上の団体や前売りなどの割引料金。11月3日(日)の文化の日は観覧料無料

関連無料イベント

ワークショップ

河野宗平さん(二紀会準会員・宮日美展無鑑査・市立西中学校教諭)を講師に迎え、世界の巨匠の作風を参考にした自画像を描きます。

●日時 10月27日(日) 13時～16時

●場所 市立美術館

●定員 10人 ※要申し込み

講演会

「日本近代画家による自画像を見るいくつかの視点」をテーマに、山梨絵美子さん(東京文化財研究所副所長)が講演します。

●日時 11月10日(日)

14時～15時30分

●場所 中央公民館

●定員 40人 ※要申し込み

ギャラリートーク

市立美術館の学芸員による作品解説を行います。申し込みは不要ですが、入場には特別展チケットが必要です。

●日時 11月2日(土)・16日(土)・24日(日) 14時

※その他の関連イベントなど詳しくは、特別展の特設サイトで確認ください





「関ヶ原合戦図屏風」

都城島津伝承館特別展

島津義弘と都城

戦国期における、島津義弘の活躍を紹介する今回の特別展。当時の島津家の様子を記した「島津家文書」などの国宝をはじめ、島津家が九州計略へと乗り出す過程にあった「百川合戦」の様子を描いたびょうぶなど、貴重な史料を多数展示します。近世島津家の礎を築いた義弘の活躍に触れてみませんか。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

島津義弘とは

戦国時代後半から太平の世に至る変革の時代に活躍した島津義弘。関ヶ原の戦いの敵中突破でも有名です。北郷家9代当主忠親ただちかの養子になり、庄内の乱で活躍するなど、北郷家や都城と深い関係があります。

特別展概要

都城の人々と義弘の関わりや、義弘の文化人としての側面が、都城の人々の間でどのように伝えられたのかをひもときます。

●会期

10月12日(土)～11月24日(日)

※月曜日は休館(月曜日が祝日のときはその翌日)。11月6日(水)は展示替えのため、伝承館休館

●観覧料

大人400円(300円)

高校・大学生300円(200円)

中学生以下無料

※(一)は20人以上の団体料金



「島津義弘公馬上姿」



「色々威胴丸 兜・大袖付」

主な展示史料

「関ヶ原合戦図屏風(埼玉県行田市郷土博物館所蔵)」

中央の上部付近に合戦の状況を見つめる義弘のほか、島津家の家紋ののぼりを持つ家臣が描かれています。
「小松甲川筆・島津義弘公馬上姿(鹿児島市立美術館所蔵)」

島津家の家紋を背に、馬にまたがった勇ましい姿の義弘が描かれています。

「色々威胴丸 兜・大袖付(重要文化財、黎明館寄託)」

義弘の父貴久が、正八幡宮(現・鹿児島市)に寄進したものです。室町時代の典型的な形状の甲冑です。

関連イベント(無料講演会)

都城関係史料からみた島津義弘の活躍について、畑山周平さん(東京大学史料編纂所助教)が講演します。

●日時 11月2日(土) 13時30分

※申し込み不要

●場所 ウエルネス交流プラザ



第14回 都城市市民意識調査 ふれあいアンケート結果

市では、市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、6月から7月にかけて「都城市市民意識調査（ふれあいアンケート）」を実施しました。調査に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、満18歳以上の約12万人の市民の皆さんの中から無作為に選んだ3,000人を対象に、本市の住みやすさや取り組み、住宅用火災警報器、がん検診、肥満、環境問題などについて調査を行いました。

回答者は1,191人（男性500人、女性652人、無回答39人）で、回答率は39.7%でした。なお、詳細な結果は、市のホームページで紹介します。
◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

●男女別回答者数

性別	回答者	比率
男性	500人	42.0%
女性	652人	54.7%
無回答	39人	3.3%
計	1,191人	100.0%

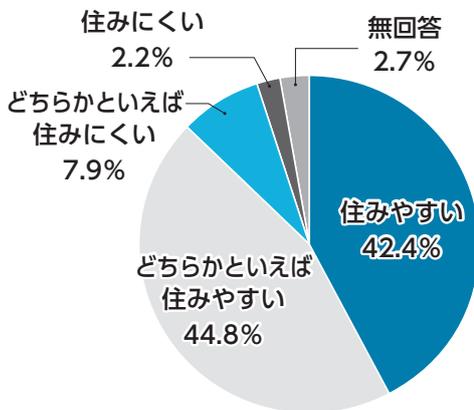
●年代別回答者数

年代	回答者	比率
10代	11人	0.9%
20代	69人	5.8%
30代	117人	9.8%
40代	187人	15.7%
50代	196人	16.5%
60代	331人	27.8%
70代以上	251人	21.1%
無回答	29人	2.4%
計	1,191人	100.0%

●地区別回答者数

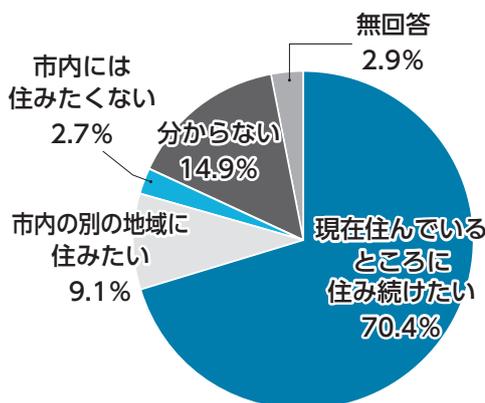
地区	回答者	比率
姫城	83人	7.0%
妻ヶ丘	142人	11.9%
小松原	74人	6.2%
祝吉	132人	11.1%
五十市	151人	12.7%
横市	92人	7.7%
沖水	96人	8.1%
志和池	40人	3.4%
庄内	47人	3.9%
西岳	11人	0.9%
中郷	55人	4.6%
山之口	44人	3.7%
高城	68人	5.7%
山田	52人	4.4%
高崎	75人	6.3%
無回答	29人	2.4%
合計	1,191人	100.0%

●解説
本市の住みやすさについては、約9割の人が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じています。
年代別に見ると「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じている人は、20代の95%が最も多く、逆に最も少ないのは10代の85%となっています。各年代とも85%を超えており、都城市を住みやすいと感じている人が多いことが分かります。



Q 今の都城市を住みやすいと感じていますか。

これからも住み続けたいかについては、約8割の人が「現在住んでいるところに住み続けたい」「市内の別の地域に住み続けたい」と考えており、次いで60代、50代という順になっています。年代が上がるにつれて、住み続けたいという傾向にあります。



Q これからも都城市に住み続けたいですか。

都城市の住みやすさ

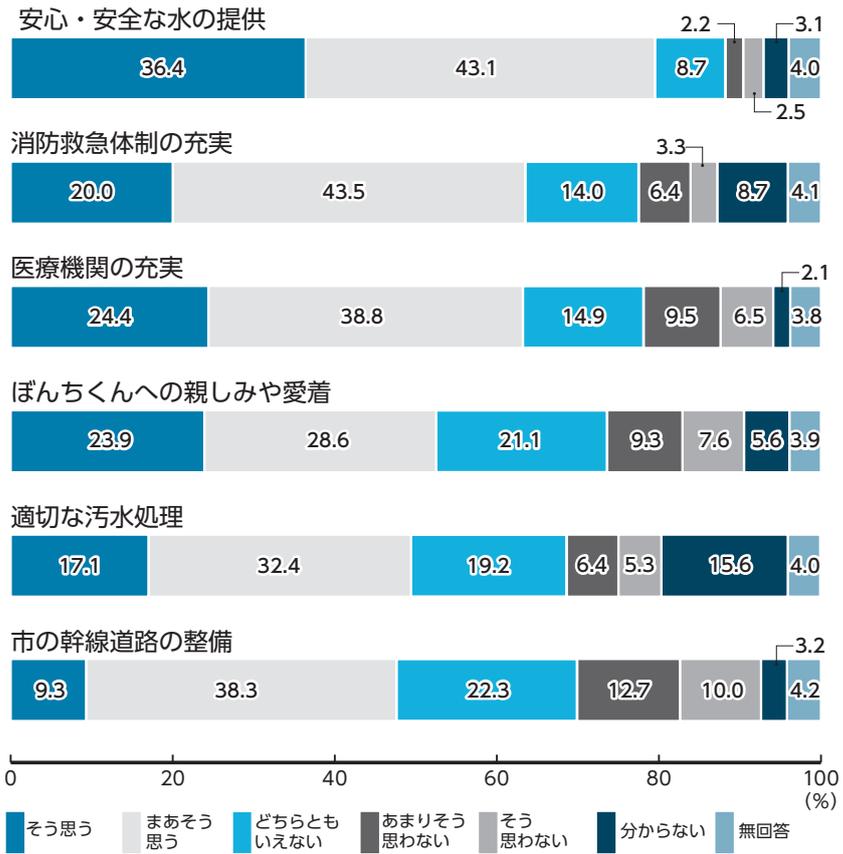




市の取り組みへの考え



(複数回答 上位6項目)



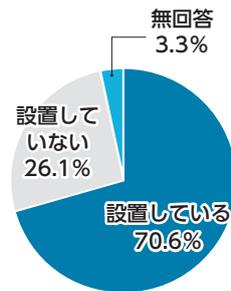
●解説
市の政策などの方針の指標として活用することを目的に、昨年調査した項目の内容を見直し、経年で調査する項目を25問設定しました。

今回は、「そう思う」「まあそう思う」の回答が多かった上位6項目を紹介いたします。項目ごとに経年比較した調査結果など詳しくは、市ホームページで確認できます。

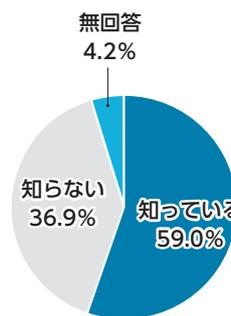
住宅用火災警報器



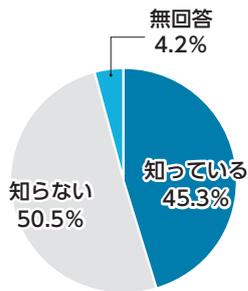
Q 住宅用火災警報器を設置していますか。



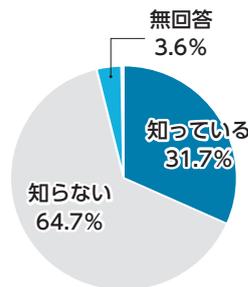
Q 全ての寝室に設置義務があることを知っていますか。



Q 設置10年を目安に交換が必要と知っていますか。



Q 購入費用の一部助成を知っていますか。



●解説
消防法の規定で設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置状況について調査しました。「設置している」は7割で、昨年の調査から3割の増加となりました。また、住宅用火災警報器は設置してから10年を目安に交換が必要であることを知っているかという質問は、「知っている」が45割、

「知らない」が51割で、知らない人が半数となりました。市では、住宅用火災警報器の設置を推進するため、購入費用の一部助成をする「安心クーポン券」を配布しています。自身や家族の命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう。

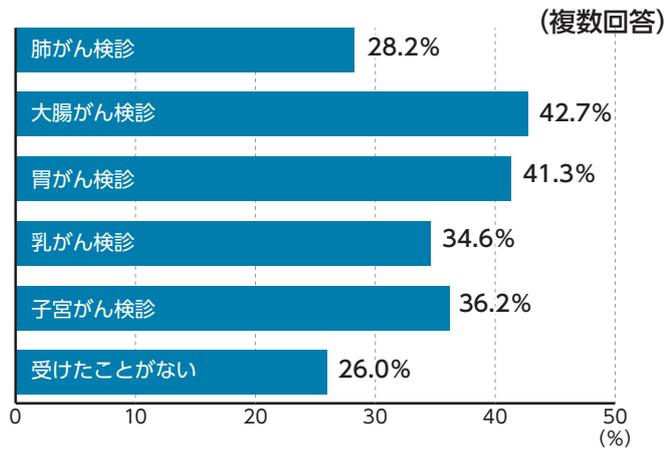


消防局ホームページ

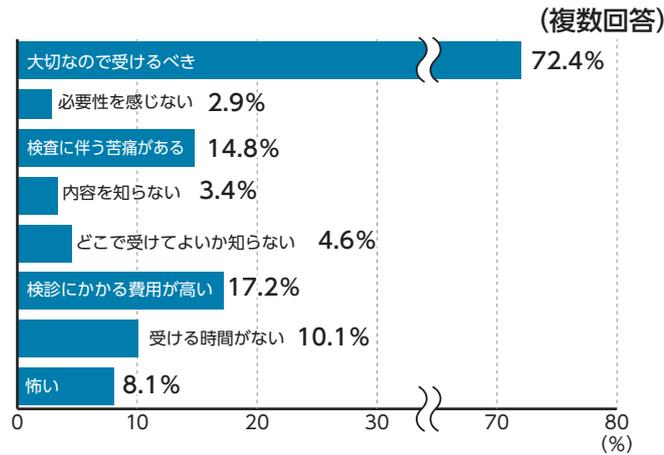
がん検診



Q 今までに次のがん検診を受けたことがありますか。



Q がん検診を受けることについてどう思いますか。



●解説

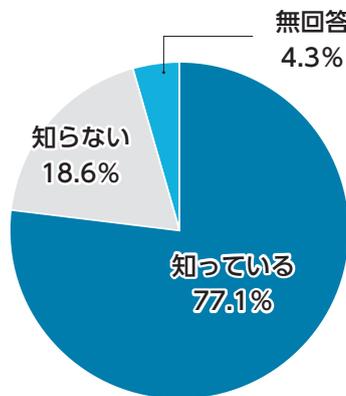
がん検診の受診経験と受診に対する考えについて調査を行いました。がん検診の受診経験については、「大腸がん検診」が43割と最も多く、次いで「胃がん検診」が41割となっています。また、女性のみの回答

数のうち、乳がん検診の受診経験については60割、子宮がん検診については63割となっています。市では、がん検診の受診率を向上させる取り組みとして、検診ガイドの各戸配布や、40歳以上の人を対象に大腸がん検診の案内を送付しています。

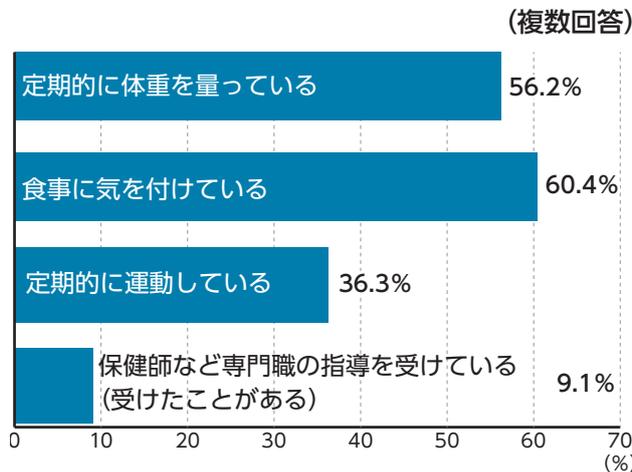
肥満



Q BMI(体格指数)が25以上だと肥満であることを知っていますか。



Q 肥満を解消するための取り組みを行っていますか。



●解説

肥満によって、糖尿病や高血圧などの生活習慣病だけでなく、食道や肝臓、すい臓、大腸などのがんになるリスクが上昇します。今回は、BMI(体格指数)の認知度と、肥満を解消するための取り組みについて調査を行いました。BMIの認知度については、

「知っている」が77割で、全ての年代で関心が高いことが分かりました。肥満を解消するための取り組みについては、「食事に気を付けている」が60割と最も多く、次いで「定期的に体重を量っている」が56割、「定期的に運動している」が36割となっています。

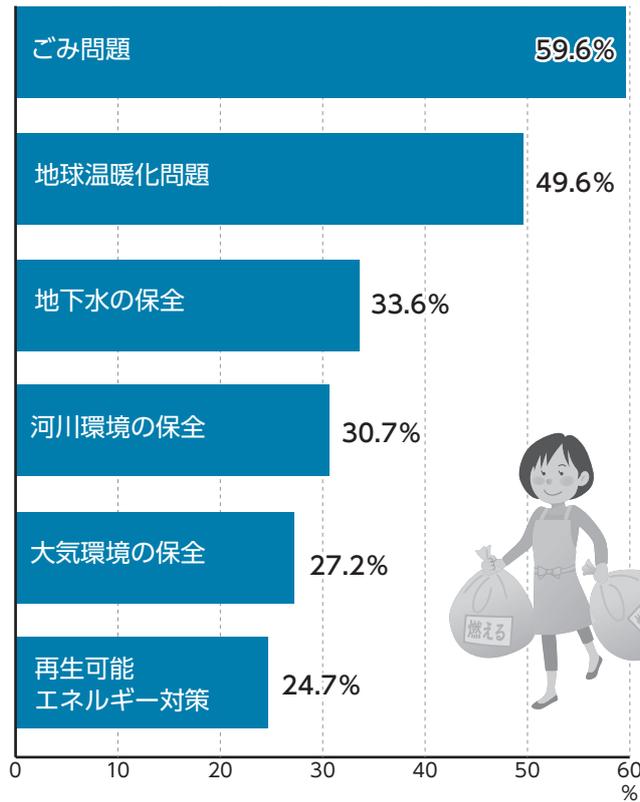


環境問題



Q あなたが関心の高い環境問題は何ですか。

(複数回答 上位6項目)



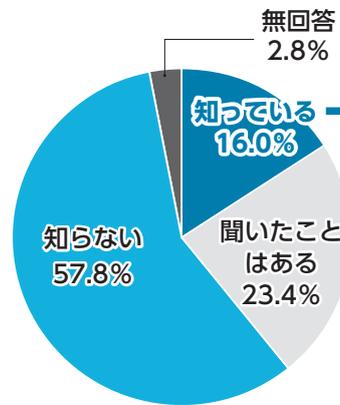
●解説
ごみ問題や地球温暖化など環境問題が年々深刻化しています。どのような環境問題に関心を持っていくか調査を行いました。
回答が多かった順に「ごみ問題」が6割、次いで「地球温暖化」が5割、「地下水の保全」が3割となっています。

また、男女別・年代別でも同様の結果となっていて、「ごみ問題」が共通して関心の高い問題といえます。
私たちの環境を次世代へつないでいくため、自分にできることから実践していきましょう。

3010運動

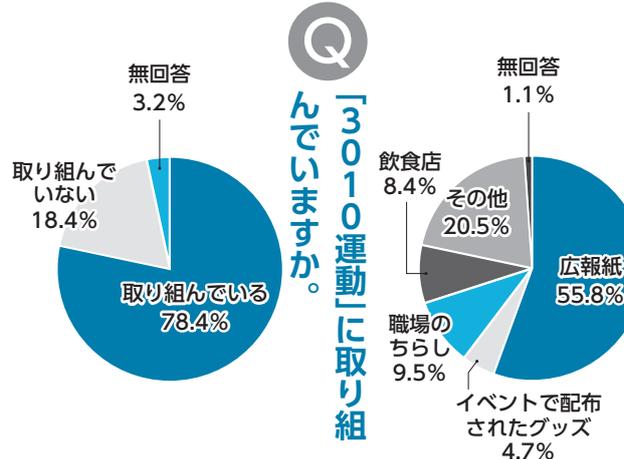


Q 市が取り組んでいる「3010運動」を知っていますか。

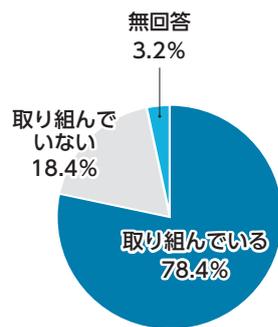


「知っている」と答えた人のみ回答

Q 「3010運動」を知りましたか。



Q 「3010運動」に取り組んでいますか。



●解説
市では、食品ロスを減らすための取り組みとして「3010運動」を推進しています。
この運動について調査したところ、「知っている」が16割、「聞いたことはある」が23割と、約4割の人が知っていました。また、知っている人と回答した人で3010運動の取り組みを調査したところ、

「取り組んでいる」が78割でした。
会食や宴会で注文する際は、適量を注文し、乾杯後の30分間と終了前の10分間は料理を楽しむ、食べ残しを減らしましょう。
また、家庭の冷蔵庫内を点検して、食材の消費・賞味期限を把握し、期限の迫っているものから使い切ることで、食品ロスを少なくしましょう。

都城デジタル化推進宣言

本市は4月、自治体経営の考え方に沿って「都城フィロソフィ」を策定しました。「本気で挑戦！日本一の市役所！」のスローガンの下、市民の幸福と市の発展を図るため人財育成による組織活性化を積極的に進めています。その中で、交付率市区別日本一のマイナンバーカードをはじめとする、将来のまちの姿を大きく変えるデジタル技術（ICT）を積極的に活用しながら、市民サービスの向上を図り、利便性が高く豊かなまちを構築することを目的に「都城デジタル化推進」を宣言しました。今回は、この宣言の3つの柱を紹介します。

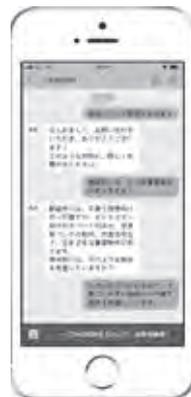
◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-7161

1 市民サービスにおけるデジタル化推進

市民の利便性向上を図りながら、住み良いまちを創ります。

- 交付率日本一のマイナンバーカードの活用 電子母子手帳、おくやみ窓口、自治体ポイント活用、コンビニ交付など

- 各種行政手続きの簡素化 ぶれぴか入退館管理システムの導入など
- SNSを活用した情報発信、問い合わせの自動化 LINE活用など



LINE画面イメージ

2 自治体経営におけるデジタル化推進

根拠に基づいた施策の実行と、効率的な自治体経営を志向します。

- 証拠に基づいた政策立案（EBPM）の推進 データ分析など
- 革新的技術の積極活用 RPA（業務自動化ソフト）、AI（人工知能）などの積極活用など
- システムの最適化 システムの標準化、クラウドサービスの導入など

- 各種行政事務の簡素化 電子会議システム、電子文書管理システムの活用など

- 人財育成 デジタル時代に対応できる人財教育の推進など

3 物産振興におけるデジタル化推進

都城が誇る「肉と焼酎」などの資源を世界へ発信するために、マーケティング力を強化します。

- EC（電子商取引）を活用した物産振興 市公式オンラインショップ「極上！みやこのじょう」の展開など
- デジタルプロモーション 動画やAIなどを活用した情報発信など
- 都城ファンクラブの推進 数的拡大からの情報発信など
- 街全体のデジタル化の推進 市民や市内企業向けセミナーの実施など



極上！みやこのじょう！



タブレット端末を活用した電子会議システム

メッセージ

少子高齢化が進む中、地方が抱えるさまざまな課題を解決し市民の幸福と市の発展を実現するツールとして、デジタル技術は欠かせないものであるとの思いから、本市は8月29日、「都城デジタル化推進」を宣言しました。

本市が先頭に立ってデジタル化に関するさまざまな取り組みを実施することで、地域や企業のデジタル化を推進し、老若男女問わず全ての市民がその恩恵を受けることができるモデル都市となるよう、挑戦してまいります。

都城市長 池田 宜永





Grow with Google

本市は、Googleが2019年4月22日に発表したデジタルスキルトレーニングプログラム「Grow with Google」のパートナーとして、職員および市民を対象にデジタルスキル向上を目的としたセミナー開催などの活動を始めます。本市は、将来のまちの姿を大きく変えるデジタル技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図りながら、利便性が高く豊かなまちを市民の皆さんと共に構築していきます。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-7161



「Grow with Google」って

Googleによる、これからの時代に役立つデジタルスキルの習得をサポートする取り組みです。個人・ビジネス・学生・教育者・スタートアップ・デベロッパーなど、さまざまなニーズに合わせたトレーニングを提供しています。

トレーニングには、インターネット上で受講できる「オンライントレーニング」と、セミナーやイベントなどの「オフライン(対面式)ト

レーニング」があり、いずれも無料で受講できます。

トレーニングは「Google」および「Grow with Google」パートナーにより提供されます。詳しくはこちらのサイトで確認ください



Googleが提供する「トレーニングメニュー」

「はじめての働き方改革」

「Grow with Google」の働き方改革に関するトレーニングでは、Googleによる実証研究の知見を基に、働く上でもっと良いものにする

ために、テクノロジーを使った具体的な取り組み方や、イノベーションを生むために必要なカルチャーの育み方など、新しい働き方の導入方法を紹介します。

「はじめてのデジタルマーケティング」

「Grow with Google」のデジタルマーケティングに関するトレーニングでは、ビジネスを成長させるために「認知を得る」「認知を広める」「効果を改善する」の3つの視点からデジタルマーケティングの基本を学びます。また、デジタルマーケティングの具体的な活用事例も紹介します。



トピック

市民向けセミナーを開催します

Googleから講師を招き、「はじめての働き方改革」「はじめてのデジタルマーケティング」について、対面式セミナーを無料で開催します。

- 日程 10月26日(土)
- 場所 コミュニティセンター

①はじめての働き方改革

- 時間 14時～15時5分

②はじめてのデジタルマーケティング

- 時間 15時25分～16時30分
- 定員 各120人 ※申し込み順
- 申し込み ①②ともに、10月9日(水)から、市ホームページで申し込みを開始





住み慣れた地域で自分らしく暮らすための

介護保険サービス

高齢者などの介護を社会全体で支え合い、家族の負担をできるだけ少なくするため、平成12年につくられた「介護保険制度」。今回は、介護保険サービスの適切な使い方や、介護予防・日常生活支援総合事業について紹介します。

◎問い合わせ 介護保険課 ☎23-2685

自分らしい生活を送るために

介護保険サービスを適切に利用しましょう

介護保険サービスは、高齢者が元気で生活し続けるために利用するものです。しかし、本市の状況は、介護認定区分更新時の要介護度推移の調査(平成30年度)で、31・4割の人が「悪化」していて、本来の目的で介護保険サービスが使われているとはいえません。

この状況が続くと、介護保険料の支払い額が増加し、子や孫の世代の負担が増加します。また、要介護度の悪化は、サービス利用者の生活の質の低下にもつながります。



サービスを利用する上で大切なことは、元気で自分らしい生活を送るための改善目標を持ち、その実現のために最適なサービスを選ぶこと。そのためには、サービスの使い方を正しく理解することが大切です。

1 自身のケアプランに積極的に関わる

「よく分からないから」と、ケアプランの作成に意見せずにいると、ケアマネジャーは最適なケアプランをつくることができません。また、改善目標が曖昧なままでサービスを受けてしまうと、要介護度の悪化につながる場合があります。

ケアプランを作成する時は、担当のケアマネジャーに「6カ月後には、グラウンド・ゴルフ大会に出場できるようにしたい」など、具体的な改善目標や希望を積極的に伝え、元気に自立した生活を続けられるケアプランになるようにしましょう。

2 自分でできることはなるべく自分で

掃除や食事の準備など、今までできていたことをホームヘルパーに任

せきりにしてしまうと、体の機能が徐々に低下し、寝たきりになってしまいます。また、デイサービスで運動していても、入浴や食事の介助などを任せきりにしてしまうと、今までできていたことができなくなり、自宅での生活が困難になります。

3 必要なサービスを吟味する

介護保険サービスは、原則1割の自己負担で利用できますが、残りの9割は、介護保険料や国や市などの公費によって賄われています。少しの負担で済むからといって必要以上のサービスを利用すると、介護保険料が高くなるだけでなく、体の機能が低下し、生活の質が落ちてしまいます。ケアマネジャーとよく相談し、必要なサービスを吟味しましょう。

また、地域で開催されるいけないからだづくり講座や健康づくり教室など、身近な取り組みにも参加し、要介護状態の悪化を防ぎましょう。



地域で支える介護保険サービス

介護予防・

日常生活支援総合事業

「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」は、介護保険制度による全国一律のサービスとは異なり、

地域の実情に応じて自治体が独自に

サービスを提供できます。本市では、平成28年度から総合事業を実施。地

域のニーズに対応できるよう、「一

般介護予防事業」や「介護予防・生活支援サービス事業」など、さまざま

なサービスを提供しています。

いつまでも住み慣れた地域で自分

らしい生活を送ることができるよう、総合事業を上手に活用し、介護予防

に取り組みましょう。

一般介護予防事業

● **対象** 市内に在住する全ての65歳以上の人、または講座や地域づくりの活動を支援する人

● **内容** こけないからだづくり講座、健康相談・健康教室

介護予防・生活支援サービス事業

● **対象** 市内に在住する要支援1・2の人、または事業対象者

※事業対象者とは、市と地域包括支援センターにより、日常生活において支援が必要と判断された人

● **内容** 訪問型サービス、通所型サービスなど

訪問型サービスの一例 生活おたすけサービス事業

高齢者の自宅に、登録した生活援助員（地域の有償ボランティア）が訪問し、簡単な日常生活の手伝いをする、住民主体型のサービスです。

● **援助内容** 食事の準備や洗濯、掃除、買い物など

● **利用可能時間**

1日2時間（月10時間を上限）

● **利用料** 1時間当たり200円

※併用不可のサービスもありますので、詳しくは問い合わせください

【サービス利用の問い合わせ】

各地区地域包括支援センター

【生活援助員登録の申し込み・問い合わせ】 都城市社会福祉協議会

☎ 25-2123

生活おたすけサービス利用者の声



(左)生活援助員 坂口 知恵美さん (右)利用者 松山 キミさん

【松山さん】 毎週1時間、掃除のみを手伝ってもらっています。炊事や洗濯なども手伝ってもらおうと体が弱ってしまうので、できることはなるべく自分でしています。坂口さんとの会話も楽しく、サービスを利用し始めてから、明るく元気に過ごせています。

【坂口さん】 人のために役立ちたいと思い、生活援助員に登録。昨年の9月から松山さん宅を訪問しています。はつらつとした松山さんから、毎回、エネルギーをもらっています。



色付いたリンゴを収穫する多田さん

養原町の県道沿いにある観光農園「多田リンゴ園」では、約1畝の敷地に、「ふじ」や「秋映」など5種類のリンゴの木が500本と、ナシやブドウなどが植えられています。この広大な農園を案内しながら「今年も豊作で、おいしいリンゴができた」と笑顔で話すのは、園主の多田宰資さんです。昭和11年、徳島県名西郡神山町で生まれた多田さんは、リンゴ農家の長男として、幼少の頃からリンゴの栽培に携わってきました。多田さんに転機が訪れたのは、昭和31年の20歳の時。都城都島高校農業課程（現・都城農業高校）の教師から、温暖な地域でリンゴを栽培していた多田さんの父親が、本市でのリンゴ園誘致と、その栽

Smiling faces of miyakonojo 人の風景

培指導の依頼を受けたのです。その翌年、多田さんが現在の農園の土地を一から開拓。リンゴ栽培の指導を行うことになりました。

苗木を植栽した当初は、学生らを実習の一環として栽培を管理。多田さんは本市と神山町を行き来して指導を行っていましたが、結婚を機に、移住を決意。昭和36年、妻の豆子さんと共に、リンゴ専門農園「多田リンゴ園」を開園しました。リンゴは本来、夏の暑さに弱く、寒暖の差で色付くため、寒冷地での栽培が向いている果実ですが、品種改良や栽培方法の工夫により、南九州でもリンゴ農家が増え、本市でも多田さんがリンゴ園を始めた当時は、近郊にも数十軒のリンゴ園がありました。しかし、収穫までに多くの時間と手間を要するリンゴ栽培は、そのほとんどを手作業で行うため、多くの労働力を必要とし、加えて天候被害や栽培の難しさから、次々とリンゴ農家が減少。やがて市内唯一のリンゴ園となってしまいました。多田さん自身も、材料費の高騰や度重なる災害などの被害で経営が悪化。一度は閉園に追い込まれました。その後、野菜生産で生計を立てていましたが、「都城で、もう一度真っ赤に輝くおいしいリンゴ

を作りたい」との夢を諦めきれず、昭和46年、農園を再開。リンゴ狩りに向いた背の低い木を植栽するなどの工夫をし、現在まで夫婦二人三脚で汗を流してきました。

多田さんに、苦勞してもなおリンゴ生産者であり続ける理由を尋ねると、「リンゴを作るのが好き」なだけ。大きく真っ赤に育ったリンゴを収穫する時が一番楽しい」と笑顔を見せます。「栽培方法をさらに改良し、今よりもっとおいしいリンゴを作って、父親を超えたい」と目を輝かせる多田さんは、リンゴ一つ一つにたっぷりの愛情を注いで大切に育てています。



右から多田さん夫婦と作業派遣の2人

これからもおいしいリンゴを
作り続ける

観光農園「多田リンゴ園」
園主

さいすけ

多田 幸資 さん
(蓑原町)

リンゴ・梨・ブドウ狩りは10
月下旬まで開園

※開園期間など詳しくは、電話
で問い合わせください

☎22-4803

沖水地区公民館・地区市民センターが完成しました！



平成30年9月から建設工事を進めていた沖水地区公民館・地区市民センターが、このほど完成しました。今回は、施設の概要や利用方法などを紹介します。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎23-9545



トピック

沖水地区公民館・地区市民センター落成式



9月1日、沖水地区公民館・市民センターの落成式を開催しました。

式では、沖水中学校吹奏楽部の記念演奏やテープカットが行われ、会場に集まった地区住民が、同館の完成を祝いました。

“住みよいまち沖水”協議会の三島美蔓^{みつる}会長は「地域の集いの場である地区公民館を、安全・安心で住みよい沖水の発展に役立てていきたい」と力を込めていました。

施設概要

- 所在地 太郎坊町1840番地2
- 構造 鉄筋コンクリート造平屋建て
- 延床面積 1,122平方メートル
- 事業費 約7億2,200万円
- 財源
 - 「合併特例債」 約6億7,908万円
 - ※対象経費の95%
 - 「一般財源」 約4,292万円

平屋造りで館内の全てがバリアフリーの沖水地区公民館・地区市民センター。多目的ホールや会議室、たまり場エリアなどを備えていて、今後、沖水地区の社会教育や生涯学習の拠点として、活用の期待が高まります。

主な設備

- 多目的ホール(多目的室) 会議や式典、各種イベント会場として使用できます。部屋を仕切ることで3室に分割でき、ヨガや舞踊などのサークル活動にも利用できます。
- 小会議室、中会議室 部屋の間仕切りを格納することで、2部屋を合わせた大会議室としても利用できます。
- 調理室 ガスコンロを備えた調理台を4台設置。料理教室などで利用できます。
- たまり場エリア 無料で利用できるスペース。図書コーナーや授乳室を備えていて、子どもらの遊び場として、また、休息や談笑の場として、さまざまな世代の人たちが利用できます。

子どもたちの頼れる先輩

ジュニア・リーダー

中学生や高校生が経験を生かし、さまざまな企画やイベントを考え、子ども会活動などをサポートするジュニア・リーダー。イベントの企画や開催などを通して地域を盛り上げています。今回は、ジュニア・リーダーの活動について紹介します。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎23-9545



ジュニア・リーダーの役割

ジュニア・リーダーは、市内の子ども会に参加して、子どもたちの良き相談相手や話し相手になったり、一緒に活動の計画を立てたりしながら、レクリエーションの実技指導などを行います。

ジュニア・リーダー教室

市では、講座やキャンプなどの活動を通して、ジュニア・リーダーとしての心得を学ぶ教室を開催しています。

- 期間 7月～3月
- ※月に2回程度、土曜日に開催
- 場所 コミュニティセンターほか
- 対象 小学6年生～中学3年生

ジュニア・リーダーの活動

市には、ジュニア・リーダークラブ「蒲公英^{たんぼば}」があり、現在16人のメンバーが活動しています、子ども会活動をサポートしています。



普段は、市内の子ども会からの要請に応じて、レクリエーションの進行方法などを指導しています。

ふれあいキャンプ

子ども会単位で、小学校5・6年生を対象にリーダーの育成や、ジュニア・リーダーなどとの交流を目的に開催。危険予知学習やキャンプファイヤーなどの交流を通して、子どもたちの成長にもつながっています。



楽しんでいよう！遊びにおいでよ！

子どもフェスティバル

公募による

市内の小学5・6年生が実行委員となり、企画から当日の運営までを行うイベント。ジュニア・リーダーは、企画から運営まで子ども実行委員をサポートします。



- 日時 10月20日(日) 10時～15時
- ※当日は混雑が予想されます。公共交通機関を利用ください

- 場所 中央公民館
- 内容
 - ・ 毎回大人気のお化け屋敷。今年は、廃墟の病院が舞台です
 - ・ スーパーボールすくい、目隠し箱などのミニゲームコーナー
 - ・ スライムやシュシュ、イヤリングの手作りコーナー
 - ・ 「ぼんちくん」の作者「みやこのジョーさん」による似顔絵コーナー
 - ・ 紙飛行機や昔のお金作りコーナー
 - ・ 飲食店コーナーなど



インタビュー



自信にもつながっています

ジュニア・リーダー
(高城高校・3年)
内田 有香^{ゆか}さん

小学6年生の時、ふれあいキャンプに

参加したことがきっかけで、ジュニア・リーダーに加入しました。小学生の頃は人見知りで、会話をするときも緊張していましたが、活動を通して自然とコミュニケーション力も身に付き、自信を持てるようになりました。活動は、大変な面もありますが、その分、何かをやり遂げたときの達成感は大きなものです。

3月にはジュニア・リーダーを卒業しますが、これまで培ったコミュニケーション力や企画力を、仕事やプライベートに役立てていきたいです。



募集

非常勤嘱託職員

児童発達障がいなどの相談や指導、
発達検査に関する業務

●対象・定員 心理士の資格を有する人・1人

●勤務地 こども発達センターきらきら(祝吉町)

●雇用期間 令和2年3月31日まで

●勤務時間 月々金曜日の8時30分～17時(週4日)

●賃金 月額15万3千円
※健康保険、労働保険有り

●申請 履歴書と資格を証明するものの写しをこども発達センターきらきらへ
☎46-123330

【学校給食事務補助業務】

●定員 1人

●勤務地 山之口学校給食センター

●雇用期間 11月1日～令和2年3月31日

●勤務時間 月々金曜日の9時～16時(週30時間)

●賃金 月額9万7,500円
※健康保険、労働保険有り

●申請 履歴書を10月15日(火)までに山之口学校給食センターへ
☎57-12242

「わけものの主張」出場者
入賞者は、地区代表として県大会に出場します。

●日程 1月11日(土)

●場所 市役所5階議場

●対象 平成2年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた人で、市内に在住・在勤する人

●発表内容 政治や選挙について考えていることや求めること

●発表時間 5分程度(400字詰め原稿用紙4枚程度)

●申請 11月5日(火)までに市選挙管理委員会へ
☎23-17864

史跡めぐり参加者

●日時 11月21日(木) 9時30分～

●集合場所 コミュニティセンター
●行程 都城歴史資料館→トーチカ
↓関之尾緑の村(昼食)→前田用水路→塚原古墳→観音瀬水路→大島畠田遺跡→弥五郎どんの館

●定員 40人
※応募者多数の場合は抽選。当選者のみ11月8日(金)までに連絡

●費用 600円(昼食代、保険料)
※飲み物を持参し、動きやすい服装で参加ください

●申請 はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、10月25日(金)までに秘書広報課(〒885-1855)へ
☎23-13174

島津発祥まつりパレード参加者

●開催日時 11月23日(土)
11時30分～

●場所 都城島津邸、神社宮

●募集役 ①五口六外城の姫(5人)、②島津忠久と丹後局(各1人)、③15代当主久直夫人の春嶺(1人)、④足軽(4人)

※市内に在住する人が対象。①③は女性。②は3歳～12歳の男児と母親。④は男性

●その他 運営ボランティア(10人)も同時募集

●申請 10月31日(木)までに実行委員会事務局へ
☎51-5501

催し

軽トラ朝市「観音さくら市」

●日時 10月13日(日) 8時～12時

●場所 観音さくらの里駐車場
●内容 新鮮野菜や果物、海産物、飲食物、雑貨の販売など

●観音さくらの里
☎29-2100

国文祭・芸文祭みやざき2020

一年前イベント
いざや、みやざき宵まつり

1年後の国民文化祭に向けて、P Rイベントが開催されます。

●日時 10月13日(日) 15時～20時

●場所 県庁本館前庭、楠並木通り
●内容 大会イメージソング披露や夜神楽、宮崎牛のふるまいなど

●実行委員会事務局
☎0985-126-17951

陸上自衛隊都城駐屯地記念行事

●日時・場所・内容
市中パレード

10/19(土) 10時～11時
都城駐屯地正門前道路
※通行止めは9時～11時30分

自衛隊音楽部演奏、車両行進など
市民と自衛隊の集い(前夜祭)

10/19(土) 17時～19時
早水公園園体育文化センター
音楽演奏、自衛隊クイズなど

記念式典
10/20(日) 9時～15時 都城駐屯地
観閲式や行進、模擬戦闘訓練展示、自衛隊車両試乗など

●都城駐屯地広報室
☎23-13944

五十市地区子ども音楽祭(無料)

●日時 10月20日(日) 9時30分～

●場所 五十市中学校体育館
●内容 小・中学生による合唱など

●五十市地区まちづくり協議会
☎23-12184

みやこのじょうシルバーフェスタ

●日時 10月20日(日) 9時～12時

●場所 総合文化ホール
●内容 農産物や手芸品の販売、バー、仕事相談コーナーなど

※市役所1階ロビーや都城市シルバー人材センターで配布する引換券持参の先着200人に花の苗をプレゼント

●都城市シルバー人材センター
☎25-11000

INFORMATION

【申】は申し込み、【問】は問い合わせ

ロビーコンサート

- 日時 10月15日(火) 12時20分～
- 場所 市役所本館1階ロビー
- 内容 ギター、ソプラノ独唱
- 出演 愛川義夫、天野るり子
- 【問】文化振興財団 ☎23-7140

都城島津邸 盆栽展

- 日時 10月17日(木)～20日(日) 9時～17時
- 場所 都城島津邸本宅
- 観覧料 小学生以上110円
- 【問】都城島津邸 ☎23-2116

都城歴史資料館開館30周年記念イベント

- 開館30周年を記念し、都城歴史資料館を無料開放します。
- 日時 10月20日(日) 9時30分～17時 ※入館は16時30分まで
- 【記念イベント】(無料)
- 時間 ①10時30分～11時30分 ②14時～15時
- 場所・対象・定員・内容 走れ! マイ弥五郎どんかー

都城歴史資料館内 中学生以下(未就学児は保護者同伴) 各25人	ゴム動力のミニカー製作
茶室「静山亭」 年齢不問 各10人	展示ケースなしの仏像撮影(仏像は高さ約10センチ)

- ※当日先着順
- 【問】文化財課 ☎23-9547

秋の彩りコンサート(無料)

- 日時 10月25日(金) 18時～19時
- 場所 南九州大学都城キャンパス
- 内容 音楽担当教員による演奏
- 定員 100人 ※申し込み不要
- 【問】南九州大学学生募集課 ☎0120-3739120

認知症家族支援「なごみ会」(無料)

- 日時 10月26日(土) 13時～15時
- 場所 総合社会福祉センター
- 内容 応急手当講習、交流会
- ※申し込み不要
- 【問】社会福祉協議会 ☎25-2123

匠のこころin都城(工芸・ハンドメイドフェア)&地場産業まつり

- 日時 10月26日(土)・27日(日) 10時～16時
- 場所 地場産業振興センター
- 内容 県内外の工芸品やハンドメイド作品、地場産品の販売など
- 【問】地場産業振興センター ☎38-4561

薩摩古道の散策(14・3キロ)

- 日時 10月27日(日) 8時～
- 集合場所 青井岳温泉入口広場
- 定員 80人 ※申し込み順
- 費用 中学生以上1,500円、小学生千円(昼食代含む)
- 【問】10月20日(日)までに青井岳の森

ふれあい交流実行委員会(前田) ☎57-2464

シニアソフトテニス大会

- 日時 10月30日(水) 9時～
- 場所 都城運動公園庭球場
- 種目 男子60歳以上(A級・B級)、女子50歳以上(A級・B級)、初心者男女
- 費用 200円
- 【問】10月23日(水)までに都城運動公園体育館 ☎23-7502

都城市総合文化祭(舞台発表の部)

- 日時 11月9日(土)・10日(日) 13時～
- 場所 総合文化ホール
- 内容 音楽や舞踊など

●入場料 千円(2日間共通券)

【問】総合文化ホール ☎23-7140

講座・教室

ライフサポートセンターみやこのじょう 話し方教室(無料)

- 日時 10月16日(水) 13時30分～
- 場所 コミュニティセンター
- 対象・定員 面接に役立つ話し方を学びたい人・30人 ※申し込み順
- 【問】商工政策課で配布する申請書を、ファクスでみやこのじょうサポートセンターテライト都城 ☎36-6510 FAX 0985-5510003

子育て支援センター 今月のオススメ行事

※子育て支援センターのホームページでは、その他も行事も確認できます



都城市子育て世代活動支援センター (ぶれびか) ☎36-5858 子育て講座「足育について」 ●日時 10/30(水) 10時30分～ ※要申し込み
山之口地域子育て支援センター ☎57-3298 体育館であそぼう! ●日時 10/29(火) 10時30分～ ●場所 勤労福祉センター(山之口総合支所内)
山田地域子育て支援センター ☎64-3171 山田地区体育館で親子運動遊び ●日時 11/12(火) 10時30分～ ●定員 10組 ※要申し込み
東部地域子育て支援センター エンゼル ☎26-9587 ロイヤルベビーマッサージ ●日時 11/12(火) 10時30分～ ●定員 6組 ※要申し込み
高崎地域子育て支援センター たんぽぽ ☎62-0027 フルートとピアノのミニ音楽会 ●日時 11/8(金) 10時30分～ ●場所 善性寺本堂(高崎町大牟田1232) ●定員 15組 ※要申し込み



家庭用プラスチック製品は燃やせるごみです

講座・教室

薬用植物をたずねて

崇城大学薬学部池田剛教授を講師に迎え、青井岳周辺で薬草の勉強会を開催します。

- 日時 10月20日(日) 8時～15時
- 集合場所 市役所北側駐車場
- 定員 150人 ※申し込み順
- 費用 千円
- 昼食や飲み物は持参
- 申込 はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、10月15日(火)までに都城市北諸郡薬劑師会(〒885-0019 祝吉一丁目2-17)。連名で応募の場合は、全員の住所も記載 ☎25-2455

市民のための健康講座(無料)

- 日時 10月24日(木) 14時～15時
- 場所 都城医療センター教育研修棟
- 内容 健康長寿と高血圧について ※申し込み不要
- 都城医療センター ☎23-4111

ロコモ予防教室(無料)

- 日時 10月24日(木) 13時～
- 場所 小牧病院
- 内容 ロコモ予防体操、体力測定
- 定員 30人 ※要申し込み
- 申込 小牧病院 ☎070-4690-7955

働き方改革セミナー(無料)

- 日時 10月24日(木) 14時～16時30分
- 場所 ウエルネス交流プラザ
- 対象 市内の事業主や人事担当者
- 定員 50人 ※申し込み不要
- 内容 みやざき働き方改革推進支援センター ☎0120-9751264

応急手当講習



救命入門コース(無料)

- 日時 10月25日(金) 10時～10時45分
- 場所 消防局(菅浦原町)
- 対象 市内に在住・在勤・在学する18歳以上の人
- 定員 20人 ※申し込み順
- 申込 10月21日(月)までに消防局警防救急課 ☎22-8883

くすりと健康講演会(無料)

- 日時 10月27日(日) 10時～15時
- 場所 コミュニティセンター
- 内容 健康についての講演や薬の相談会、健康薬膳料理の教室
- 申込 都城市北諸郡薬劑師会 ☎25-2455



生涯学習課主催の教室

- 日時・場所・定員・学習料
- ①初めてのフード(全18回)
- ②初めてのエクセル(全18回)
- 11/6(水)・3/25(水)の毎週水曜日 ※12/25(水)、1/1(水)・8(水)を除く
- ①9時15分～10時15分
- ②10時15分～11時15分
- 沖水地区公民館 ①②各13人
- 1万5千円程度(人数により変動)を初回全納
- ※5人以上で開催
- ③easyヨガ
- 毎週火曜日(第5火曜日を除く) 19時～20時 祝吉地区公民館 1回550円
- ※マットや飲み物、タオルを持参
- ④クラフトバンドでクリスマス小物を作る(全2回)
- 11/7(木)・21(木)
- ④10時～12時、⑤14時～16時
- 祝吉地区公民館 ④⑤各10人
- 1、1000円を初回全納
- ※材料費500円程度が毎回、別途必要。5人以上で開催
- 申込 ①②は10月25日(金)まで、④⑤は10月31日(木)までに生涯学習課 ☎23-9545

園芸教室(無料)

- 日時 10月27日(日) 9時～12時
- 場所 緑の相談所(早水公園内)
- 定員 20人
- 内容 ※応募者多数の場合は抽選。軍手や帽子、タオルを持参
- 申込 10月15日(火)までに道路公園課 ☎23-2613

産業保健研修会(無料)

産業保健活動に携わる衛生管理者や事業主、人事労務担当者などを対象とした、ハラスメントケアを学ぶ研修です。

- 日時 10月25日(金) 13時30分～15時30分
- 場所 地場産業振興センター
- 申込 ファクスまたはホームページで宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-6212511 FAX 0985-6212522 <https://www.miyazakisjohas.go.jp>

司法書士による無料公開講座

- 日時 10月26日(土) 9時～11時
- 場所 五十市地区公民館
- 定員 40人 ※申し込み順
- 内容 相続の基礎知識や法改正についての講演
- 申込 司法書士会都城支部(平瀬) ☎22-5708

初心者向けスポーツ吹き矢体験会(無料)

- 日時 11月4日(月) 9時30分～
- 場所 沖水地区公民館
- 定員 30人 ※申し込み順
- 申込 10月21日(月)までにコスモクラブ都城事務局(押川) ☎080-2772-1818

申は申し込み、問は問い合わせ

相談

こころの健康相談(無料)

精神科の医師が相談に応じます。

● 日時 10月17日(木)

13時30分～15時

● 場所 都城保健所

● 定員 3人 ※要予約

● 申問 都城保健所 ☎23-4504

労働相談(無料)

県内の事業所に勤務する労働者と使用者を対象に、労働問題の相談に応じます。

● 日時 10月26日(土)～11月1日(金)

8時30分～19時

※土・日曜日は9時～17時

● 場所 県労働委員会事務局(県庁3号館6階)

● 相談方法 電話、面談など

● 相談専用電話

働くあんしんサポートダイヤル

☎0985-26-17538



お知らせ

水道料金などの消費税率の改定

10月1日から水道料金や公共下水道使用料、農業集落排水施設使用料にかかる消費税率が10%に変更になりました。ただし、10月より前から継続して使用している人の10月以降

休日急病診療機関

● 診療時間 9:00～18:00

※ 歯科は17:00まで

◎みやざき医療ナビも利用ください



みやざき医療ナビ

月日	医療機関名	電話番号
10/20 (日)	ふくしまクリニック(内・消・小)	46-5001
	藤元総合病院(内)	22-1717
	坂田医院(内・消・胃)	51-2003
	吉松病院(外・整)	25-1500
	飯田整形外科クリニック	46-5115
	岩下耳鼻咽喉科	51-1187
	ほりのうちデンタルクリニック	26-7222
10/22 (火)	久保原田中医院(内・小)	22-7700
	坂元医院(内・胃)	22-0360
	都城明生病院(泌)	38-1120
	都城フォレスト・クリニック脳神経外科	80-4313
	江夏整形外科クリニック(整・リウ・リハ)	51-1122
	よしだ眼科クリニック	77-8817
	ウィーンデンタルオフィス	36-5567
10/27 (日)	原田医院(内・小・外)	26-3330
	野辺医院(内・胃)	22-0153
	佐々木医院(内)	62-1103
	たかお浜田医院(外・内)	22-8818
	池之上整形外科(整・リハ・リウ)	23-2311
	すみ産婦人科医院	23-1152
	デンタルオフィス松田	23-8055

※診療機関は変更することがあります
詳しくは、テレホンサービス(医師会は☎23-5555、
歯科医師会は☎25-4100)で確認ください

● 休日当番薬局

10/20(日)	ひかり、日研、ひむか三股、上町おおた
10/22(火)	ハートハンズ、かじや、サンライト川東、みまたさくら
10/27(日)	あい上町、そうごうたかお、チェロ、東町マリンバ

最初の検針分については、全部または一部に経過措置として旧税率(8%)が適用されます。

● 申問 上下水道局お客様センター

☎23-4510

中心市街地再生プラン まちなか出店誘致促進事業

市では、特定業種の店舗を誘導し、中心市街地のにぎわい創出を図ります。Main Mallに隣接する商業施設「Cプラザ」の空き店舗に、認定を受けて新規出店する事業者に対して、家賃の一部を助成します。詳しくは、市ホームページで確認ください。



● 参加表明期限 10月25日(金)まで

● 申問 商工政策課 ☎23-2983

令和2年4月からの

保育所(園)・認定こども園・幼稚園の入所申し込みが始まります

希望する園に直接申し込み。

● 保育所(園)・認定こども園(1号)・認定こども園(2号)・3号)

● 申請書の配布 10月23日(水)から

● 配布場所 入所を希望する園、保育課(黄緑色3番)、各総合支所

● 市民生活課

● 受付期間 11月1日(金)～12月20日(金)

● 受付場所 保育課

※この期間以降も

令和2年3月2

日(月)まで随時受

け付け。ただし、



都市計画(案)の縦覧

期間中に意見書を提出できます。

● 縦覧期間 10月15日(火)～29日(火)

8時30分～17時15分

※土・日曜日、祝日を除く

● 内容 都城広域都市計画公園の変更(山之口運動公園)

● 申問 都市計画課 ☎23-2762

期間内に申し込んだ人を優先。認可外保育施設を申し込む人は、保育課まで問い合わせください。詳しくは、市ホームページで確認ください。

● 申問 保育課 ☎23-4894





会場敷地内は禁煙です！ エコバッグを持参した先着120人に、素敵なプレゼントがあるよ！

洗剤や接着剤などの原料に用いられる「リモネン」を使って、発泡スチロールスタンプを作り、化学物質の使用や環境問題を考えます。



市内の小学生が描いた環境啓発の図画やエコ作品、企業や団体の環境

【展示コーナー】

魅力いっぱい！ 展示コーナー



・手作り堆肥や苗木の無料配布

【無料配布】

・使わなくなったおもちゃの交換会を開催します。当日、まつり会場に持参ください

※1家族20個まで

・霧島酒造(株)焼酎パック5枚を、トイレットペーパー1個と交換します

【交換・回収】

交換・配布・回収コーナー

への取り組みを紹介したパネルなどを展示します。

- ・「環境美化の日」図画の展示
・環境保全に関するパネルの展示

その他のコーナー

【楽しいゲームコーナー】

くじ引きや射的、輪投げなど、楽しい遊びのブースを、多数出展します。

【おもちゃの病院】

壊れたおもちゃを無料で修理します。当日修理できないものは、後日渡しになります。

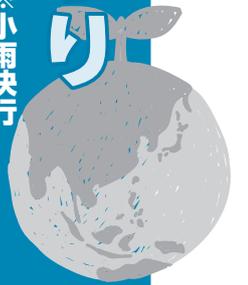
※材料費が必要な場合があります。ゲーム機器は対象外

【飲食店コーナー】

メンチカツやサイコロステーキ、フライドポテト、うどん、ソフトクリームなど多数出店します。



都城市環境まつり

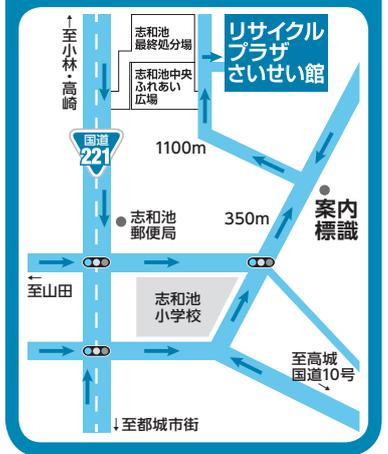


- 日時 10月26日(土) 9時20分～15時30分 ※小雨決行
場所 都城市リサイクルプラザ「さいせい館」(下水道町)

「ごみの減量」をテーマに、環境について楽しく学べる体験コーナーやリサイクル品の抽選販売などの企画が盛りだくさん。ぜひ、家族そろって来場ください。

◎問い合わせ 環境政策課 ☎23-2130

会場案内図



まだまだ使える！ リサイクル品の抽選販売

家庭で不用になった家具や自転車を再生し、希望者に抽選販売します。

●販売品目 各種

家具、自転車(子ども用含む)、生活雑貨

※詳しくは、市ホームページに掲載

●応募資格 自分で持ち帰ることが出来る18歳以上の

人 ※配達はできません

●応募方法 「さいせい館」事務所で、応募用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函

※電話、ファクスでの申し込みはできません。家具と自転車は、1人各1点(重複無効)

●応募期間 環境まつり当日の正午まで

※10月1日(火)・8日(火)・15日(火)・20日(日)・22日(火)はさいせい館休館日

●抽選方法 10月26日(土)14時ごろから、環境まつり会場で抽選発表

※発表時に会場にいない場合は無効。応募半券があれば代理でも可

【申込】 さいせい館

☎36-3900



健康づくりの第一歩

がん検診を受けよう！

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765



市ホームページからも予約できます

がん検診は、受けて終わりではなく、定期的に受けることが大切です。自分だけでなく身近な人のためにも検診を受けましょう。

11月の巡回がん検診(要予約)

子宮がん検診

●対象 20歳以上の和暦で偶数年生まれの女性

日程・場所

11/13(水)	①②コミュニティセンター
11/27(水)	①清流館(吉尾町) ②小松原地区公民館

●受付時間 ①9時～10時、②13時30分～14時30分

●検診料 1,300円

【胃がん検診】

●対象 40歳以上の市民

日程・場所

11/14(木)	J A都城志和池支所
11/25(月)	高城生涯学習センター
11/28(木)	西部保健センター (高崎福祉保健センター)

●受付時間 8時30分～10時30分

●検診料 1,300円

【乳がん検診】

●対象 40歳以上の和暦で偶数年生まれの女性

日程・場所

11/21(木)	①②コミュニティセンター
11/26(火)	①清流館(吉尾町) ③小松原地区公民館
11/29(金)	①②コミュニティセンター

●受付時間 ①9時～11時30分、②13時～15時30分、③13時30分～16時

●検診料 2千円



若い人こそ子宮頸がん検診を受けましょう

子宮頸がんは、20～30代の女性に一番多いがんです。早期発見すれば子宮を残す治療もありますが、発見が遅れると、子どもを産めなくなるほか、命に関わることもあります。他人ごとと思わず、今年度の対象者や無料クーポン券の対象者(平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ)は、早めに検診を受けましょう。



8月号に寄せられたお便り

このコーナーでは、「わたしの一言」の中から一部を紹介します。また、皆さんから寄せられた意見を、今後の広報紙に生かしていきます。



「都城フィロソフィ」。初めて聞く言葉でした。人財育成や意識改革などで、都城が住みやすくなれば大変いい事だと思います。頑張ってください。

(高城町桜木 T・Uさん)

人の風景を読んで、南部九州総体の松尾さんは、学生なのにいろいろな活動もされていて素晴らしいですね。

(高木町 りんママさん)

空き家として放置を続けると近隣の人にも迷惑を掛けることが分かりました。自分の実家も空き家でしたが、父が亡くなったことを機に、相続の手続きを取ることにしました。

(横市町 M・Nさん)

たくさんの人に都城にふるさと納税で寄附してもらい、市政運営に役立てられていることがうれしいです。

(上水流町 ヤッコちゃん)

▲点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

● あなたの年代は？ (○をつけてください)
10代 ・ 20～30代 ・ 40～50代 ・ 60代以上

● 10月号で特に興味を持ったページのタイトル

● 10月号を読んでのわたしの一言

● 今後、取り扱ってほしい記事

ご協力ありがとうございました。

※応募者の個人情報は、当選者発表と商品発送、質問などの回答以外には利用しません

都城市を盛り上げてくれる、PR連携店やみやこんじょ大使を紹介!

みやこんじょ盛り上げ隊!

◎問い合わせ みやこんじょ PR課 ☎23-2615

また、実際に都城を訪れ、こだわり抜いて選んだ牛肉以外の食材も、お客様に大変好評です。

10月16日(水)から大阪府内

当店は、昭和27年に大阪府堺市で創業し、今年で68年を迎えます。30年ほど前に宮崎の肉にほれ込んでからは、(株)ミヤチクから直接仕入れる宮崎牛を使用しています。目の前の鉄板でシェフが焼き上げる鉄板焼フルコースは、当店の人気メニューです。

「南海グリル」の代表取締役西浦結香さんに、PR連携店としての思いを聞きました。

大阪で最高の都城産宮崎牛を楽しむ!



鉄板焼 調理部長 藤原隆司

都城の食材を多数そろえる「南海グリル」。大阪府堺市で5店舗を展開。平成30年10月、都城市PR連携店に認定。

所在地 (中店) 大阪府堺市堺区車之町西1-25-2 ☎072-222-0128
(東店) 大阪府堺市堺区車之町西1-25-1 ☎072-229-1500
(天兆閣別館) 大阪府堺市堺区車之町西2-1-30 ☎072-222-0127
営業時間 11:30~15:00
17:00~22:00



秋のみやざき味覚フェア

の3店舗で開催する「秋のみやざき味覚フェア」では、霧島黒豚や地頭鶏をはじめ、野菜やきのこなど都城の秋の食材を使ったコースメニューを提供します。今回のフェアで、都城ファンが増え、都城への観光につながるとうれしいですね。大阪でも都城の空気が感じられる「南海グリル」。大阪にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。

今月の読者プレゼント



【ななほしギフト都城おつまみセット 3組】

商品提供事業者

マーケットプラス(株) (久保原町16-11) ☎57-6565

市内の7事業所が自信を持って提供する鶏の炭火焼やみやだいずなど、厳選された7種のおつまみギフトをプレゼント。各商品の詳細は、ホームページで確認ください。



プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、10月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 10月31日(木) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙12月号
- ◎8月号当選者 平原美代子さん 他2人
- ◎8月号応募総数 65通

※読者プレゼントの寄付事業者を募集しています。詳細は、秘書広報課までお問い合わせください

POST CARD

8 8 5 - 8 5 5 5



都城市役所 秘書広報課 行

(広報 都城 No.166 2019年10月号)

フリガナ

氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□□□

電話番号 () -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

vol.18

都城市立 美術館

Shigakonojo City Museum



[Face'84 No.2] 1984年
園田 博一作(油彩・キャンパス)



山田町出身の園田は、都城泉ヶ丘高校を卒業後、武蔵野美術大学へ進学。卒業後は美術教師として宮崎県内の中学校で教壇に立ちました。

本作品は、園田が28歳の時に描いた自画像で、赤や黄、緑、青などさまざまな色を用いながら画面いっぱいに顔を描き、怒りとも悲しみとも取れる表情をモザイク模様のように組み立てています。園田は「中学生を相手に、毎日のようにいろいろな事が起きて、精いっぱい生きていた自分の姿を思い出す」と当時を振り返ります。

第10回宮崎県美術展で準特選に選ばれた本作品は、10月19日(土)から開催する特別展「自画像 キャンパスの中の画家たち」で展示します。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

国際交流員 の ひとりごと

せん けいぶん
錢 慧文さん
(中国)

vol.6



4500年の歴史を持つ民族衣装

独特な透明感と滑らかな質感や、歩くたびに長い袖や裾がふわりと揺れるのが特徴の漢服は、漢民族の伝統的な民族衣装です。チャイナドレスより歴史がはるかに長く、種類も豊富です。

今まで漢服を着たことがなかった私は、今回ワクワクしながら初めて着てみました。周りから「かわいい!」「似合う!」と絶賛され、大満足。風に吹かれて裾がゆらゆらと動く様に心を奪われました。

11月に開催される都城市と中国重慶市江津区の友好交流都市締結20周年記念イベントや、1月に開催されるワールドフェスタなどさまざまなイベントのほか、学校訪問でも漢服を展示します。皆さんも、ぜひ、漢服を試着して優雅さを感じてみませんか。

◎問い合わせ 国際化推進室 ☎23-2295

「要件である」
的研究が必
定した実験
模噴火を想
ので、大規
めて少ない
害事例が極
低く、大量降灰による建築物の被
害事例が極
めて少ない
ので、大規
模噴火を想
定した実験
的研究が必
要件である」



火山灰の堆積厚さの測定

建築分野で活躍する人材を養成している都城高専の建築学科に、積灰荷重が建築物の構造安全性に及ぼす影響について研究する、山本剛准教授の研究室があります。本建築構造を専門としている山本准教授は、新燃岳の爆発的噴火で被災したことを機に、屋根に積もった火山灰の荷重が、建築物の構造安全性に及ぼす影響を研究し始めました。山本准教授は「大規模噴火は地震と比べ、発生頻度が低く、大量降灰による建築物の被害事例が極めて少ないので、大規模噴火を想定した実験的研究が必要である」

と研究への思いを強く語ります。屋根への降灰を再現する実験装置で、屋根の勾配や形状の違いによる火山灰の堆積性状を調べている研究室。卒業研究として取り組む中島響貴さん(5年・妻ヶ丘中学校出身)は「先行研究が少なく、実験方法も自分で考える場合が多いが、自分の考えた方法でうまく測定できたときは、とてもうれし」と笑みをこぼします。

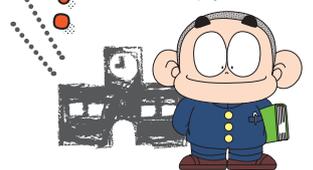
山本准教授は「現在、木造住宅を対象として研究を進めているが、今後は、避難所に設定される体育館など公共施設も対象に、研究を広げたい」と力を込めていました。

●取得できる資格
二級建築士(国家試験)受験資格、
建築積算士受験資格など

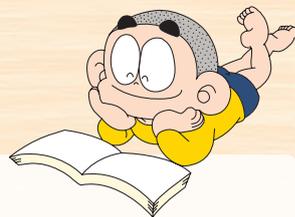
開校
VOL.06
都城工業高等専門学校
(建築学科)
☎47-1107

学校へ 行こう!

都城の高等教育機関を紹介



(装置の前で左から)中島さん、山本准教授



図書館イベント

「ひとりひとりが“だいじなもの”をみつけていくために」をコンセプトに、市立図書館では、人それぞれにあるだいじなものについて聞くトークショーを開催しています。今回のゲストは、千葉県で地域情報の編集や発信を行っている磯木淳寛さん。ぜひ、来場ください。



一般社団法人picobirds
代表 磯木 淳寛さん

1977年生まれ。北海道函館市出身。食や地域をメインテーマに、全国の取り組み事例を取材し、雑誌などに寄稿。まちづくりについての講演や地域を題材にした商品開発なども行っている。

第4回だいじなものトーク ～言葉で伝える～

【日時】 11月2日(土) 14時～16時
【会場】 市立図書館1階ホール



市立図書館	読み聞かせ会	ノンタン文庫のおはなし会 10/18(金) 10時30分～11時30分
		おはなしまるまる 毎週土曜 11時～11時30分
		おはなしまるまる ザ・ワールド 10/21(月) 16時～16時30分
		おはなしの部屋「そらまめ」 10/24(木) 11時～11時30分
高城図書館	イベント	本とおはなしの会 11/9(土) 14時30分～15時
	ワークショップ	物語を色と形で表現しよう 10/26(土) 13時30分～15時30分
		こうさくまるまる 10/27(日) 14時～15時
高城図書館	イベント	本とイラスト展#3(作家:mugnyさん) 10/5(土)～11/10(日)
		ブックラボ(選書トーク) 11/1(金) 19時～20時
高城図書館	読み聞かせ会	「おはなしとんとん」 10/26(土)、11/9(土) 11時～11時30分

市立図書館
高城図書館

●休館日/ 11月11日～15日(蔵書点検のため)
●休館日/ 10月20日・22日・23日・29日、11月5日・12日

●開館時間/ 9:00～21:00
●開館時間/ 9:30～18:00

文化財課 ☎23-19547

在、緑豊かな公園となり、地域の人の憩いの場として利用されています。



安永城跡古絵図(都城島津邸蔵)

ぼんちくんと 歴史探訪
安永城跡
北郷家の重要拠点
安永城(庄内町)は、応仁2年(1468)に北郷家6代当主敏久が築城。以降、北郷家の主要な居城であったとされる中世城館で、慶長4年(1599)、島津家とその重臣である伊集院家との内紛「庄内の乱」の舞台にもなった城跡です。
庄内川を見下ろす丘陵地に造られたこの城は、空堀(水のない堀)で分断した4つの曲輪(区画)の、本丸・二之丸・金石城・取添で構成されています。城跡の一部は、当時の形状を良く留めていて、平成30年に行われた二之丸跡の発掘調査で、堀立柱建物などの遺構や、陶磁器などが出土しています。また、市指定史跡の本丸跡は現在、緑豊かな公園となり、地域の人の憩いの場として利用されています。



都城島津邸 ☎23-12116



古垣家文書(豊臣秀吉朱印状)

「豊臣秀吉朱印状」
(出水より肥後水俣への帰還命令)
本史料は、平成6年に姫城町の古垣さん宅で発見され、現在は都城島津邸で保管されています。豊臣秀吉の直轄領であった肥後水俣(熊本県水俣市)の住人37人が、島津家分家の薩州家領(当主島津忠辰)であった出水(鹿児島県出水市)に退去していたことから、文禄2年(1593)4月「水俣に帰還させよ」と秀吉が薩州家家臣の古垣忠晴へ命じたことが記されています。
当時は、秀吉による朝鮮出兵が行われていて、九州地方は出兵の重要拠点でした。各地の住民を正確に把握することで、地域の生産力や兵力の管理を行っていたと考えられます。
本史料から、後に北郷家(都城島津家)の家臣となる古垣家が、島津薩州家の家臣であったことや、朝鮮出兵時の南九州の状況をうかがい知ることが出来ます。

都城島津 伝承館だより

安全・安心情報

◎問い合わせ
危機管理課 ☎23-2129



災害時の停電情報をチェック！

台風などの災害で停電が発生した際、九州電力への電話がつながりにくくなります。災害時の停電情報は、九州電力のホームページで確認することができます。また、ホームページに掲載しているメールサービス（無料）に登録すると、指定した地域の停電情報や復旧見込み情報などが届きます。災害時の情報収集の際に活用ください。



メールのイメージ

九州電力携帯版ホームページ



九州電力
携帯版ホームページ

市の提供番組紹介

テレビ番組の案内

◆BTVケーブルテレビ(デジタル111ch)

「みやこんじょジャーナル」 ※毎回10分間放送

- ① 6:50 ~ ② 11:50 ~ ③ 16:50 ~
- ④ 20:50 ~ ⑤ 22:50 ~

ラジオ番組の案内

◆MRTラジオ(AM放送936kHz、ワイドFM90.4MHz)

「みやこのじょうドキドキナビ」

毎週月～金曜日(祝日を除く) 15:30 ~ 15:45

◆シティエフエム都城(FM放送76.4MHz)

「インフォメーションM」 毎週月～金曜日

9:50 ~ 9:55、15:55 ~ 16:00(再)

都城市現住人口

令和元年9月1日現在	前月比	前年比	スマートフォンからも市政情報を確認できます。
世帯数 70,991世帯	(40)	(271)	
人口総数 161,048人	(62)	(-938)	
男性 75,722人	(55)	(-491)	
女性 85,326人	(7)	(-447)	

※平成27年国勢調査に基づく推計人口です



ここ2年半で約7kg増加し、図らずも自己最高体重を更新した私は、ミキサーを購入し「スムージー生活」を開始。コンビニで食生活を賄っていたのですが、この生活を始めてから、道の駅や直売所の青果物コーナーに足を運ぶようになりました。そこで気付いたことは、都城産青果物の種類が多いこと。楽しくなって、つい買う量が増えてしまいます。買う量が増えると飲む量も増え、いまだに体重は減っていません。天高く腹肥ゆる秋。何事もほどほどが肝心ですね。(齊)

NPO通信

さらだ(早水町)

◎問い合わせ ☎46-3717

市内で
がんばる
団体を紹介



住み慣れた地域で「自分らしく」暮らす

支援を必要とする人が、住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、本人やその家族への相談支援や、希望する生活や目標の実現に向けた生活設計などを行っています。また、遊びや活動を通して、支援の必要な子ども一人一人と丁寧に向き合い、長所をより輝かせるための発達支援サポート「ぴかぴか発見計画」にも力を入れています。地域の皆さんと一緒に、障がいのある人への理解をさらに広めていきたいですね。

NPOのイベント情報

詳しくは、市ホームページで確認するか、各団体に問い合わせください。



ヨガ教室

- 日時 10/10(木) 10時30分～11時30分 ※要予約
- 場所 子育て応援団ひいらぎ(葦原町8240-1)
- ☎子育て応援団ひいらぎ(東) ☎080-3993-4919

おしゃべり広場

- 日時 10/11(金)、11/8(金) 10時～13時
- 場所 横市地区公民館
- ☎子育てネットおひさまとはらっぱ(岡本) ☎080-6411-8441

婚活 やきにく祭り

- 日時 10/12(土) 19時～21時30分
- 場所 エンクエントロ(中町13-22オーバルパティオ内)
- ☎婚活支援良縁どっと混む(黒木) ☎070-5530-7964

視覚に障がいのある人のためのプチカフェ

- 日時 10/16(水) 10時～13時
- 場所 ビ助っ人(志比田町3362-2)
- ☎ビ助っ人(三原) ☎57-7744

シエロコモ! シニア対象運動トレーニング&レクリエーション

- 日時 10/17(木)、11/7(木) 10時～11時
- 場所 ウェルネス交流プラザ
- ☎都城スポーツクラブシエロ(水久保) ☎090-8407-0406

婚活 おしゃべり会

- 日時 10/19(土)・24(木) 19時～22時
- 場所 エンクエントロ(中町13-22オーバルパティオ内)
- ☎婚活支援良縁どっと混む(黒木) ☎070-5530-7964

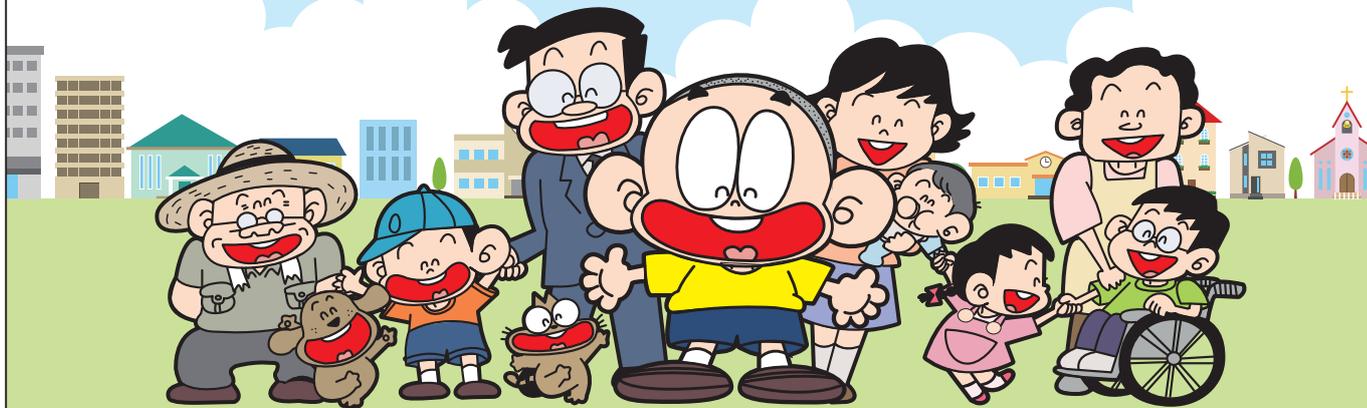
終活・相続無料相談会

- 日時 11/1(金) 10時～16時
- 場所 ライフサポートセンター HAPPY終活案内所(中町17-14)
- ☎ライフサポートセンター HAPPY(八反田) ☎090-2855-0482



10月は、自治公民館加入促進月間

「近助」でスマイルシティ都城へ!



自治公民館は、地域の人たちが、互いに助け合う共助の精神で、安全・安心で暮らしやすい地域をつくることを目的に活動しています。まずは、近所の人と顔の見える付き合いをすることで絆をつくりながら助け合ってみませんか。自治公民館にまだ加入していない人にも、ぜひ、あなたが、自治公民館の役割や活動の大切さを伝えてあげてください。

防災・地域の安全管理

災害時の助け合い、
自主防災組織の運営、
危険箇所の確認、
防犯灯の設置・管理など

快適な地域づくり

ごみ収集所の維持管理、
道路や公園の美化活動
など

地域の宝「子ども」を育てる

登下校時の見守り活動、
学習支援、
ボランティア活動、
子ども食堂など

伝統行事・民俗芸能の継承

六月灯や十五夜、
おねっこなどの伝統行事や
地域に伝わる芸能の
継承

高齢者のサポート

高齢者の見守り活動や、
こけないからだづくり講座
など地域主体の教室の
開催

インタビュー

市外の大学を卒業後、実家のある西高木に戻り、自治公民館活動に参加しています。壮年部にも所属し、祭りや敬老会などの行事の協力や清掃活動などを行っています。同年代の人は少ないですが、幅広い年代の人と交流でき、さまざまな話を聞くことができるので楽しいですね。休日の活動は大変だと感じることもありますが、やりがいや地域のつながりを強く実感しています。

沖水地区西高木自治公民館
松下 達哉さん

